

今年度の重点課題（学校アクションプラン）

平成 22 年度 高岡龍谷高等学校アクションプラン - 1 -	
重点項目	学習活動の充実
重点課題	生徒の基礎学力の定着と学習活動の充実
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習時間が短く、学習が定着しない。 ・全教科・科目に対して平均的・継続的に勉強しない生徒がいる。 ・学習の目標が見出せず、学習意欲の乏しい生徒がいる。 ・学習課題提出率が 87.4%、91.8%、92.2%と向上してきている。
達成目標	学習課題の提出 95%
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の提出をさせることにより、家庭学習時間を増加させ、学習の定着につなげる。 ・全教科で取り組むことにより、基礎学力・基礎知識の不十分な学習面を補う。 ・教科担当者、担任、学年担当者に学期毎の提出状況集計結果を連絡し、徹底を図る。
達 成 度	3 学期 1 年 93.4%（昨年 92.5%） 2 年 91.6%（昨年 92.0%） 3 年 94.3%（昨年 92.0%）
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全教科で学習課題を提出させるように取り組み、生徒の課題提出率を調査した。 ・5教科を中心に、家庭学習につながり基礎学力・基礎知識を補う内容の課題を出し学力の増強に努めた。 ・教科担当者、担任、学年担当者に毎学期の提出状況集計結果を連絡し、徹底を図る。
評 価	B 目標の 95%に届かなかったが、昨年度の 92.2%を上回り、93.1%となった。学年進行で考えると、3年生では向上が確認できた。 初めて二学期・三学期と課題提出率 100%を達成したクラスが出てきた。90%を下回るクラスは 21 クラス中、5 クラスとなった。
学校評議員の意見	90%維持できれば素晴らしいことである。 目標を欲張って設定しないようにする。無理をすると落ちこぼれを作ることになる。現在の提出率を保持できれば素晴らしい。生徒に約 90%達成していることを伝えると、良い影響が現れると思う。提出できなかった理由がわかると良い。宿題の量を調整する必要がある。
次年度へ向けての課題	生徒の学年が上がる毎に提出率が上がっているが目標の 95%に達する学年はなかった。特進コース I 類、II 類はほぼ達成しているが、総合コース、調理科を向上させたい。 各教科部会で提出率をあげる取り組みをする。

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)

平成 22 年度 高岡龍谷高等学校アクションプラン - 2 -	
重点項目	生活習慣の確立
重点課題	制服を正しく着こなす
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・制服のネクタイやリボンを緩めて着用している。 ・シャツ出し・ウエスト位置を下げてのズボン着用や、スカートを短くしての着用者がいる。
達成目標	制服を正しく着こなす 85%
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・S Tで担任が生徒に継続的に正しい服装の着用を呼びかける。 ・校内での日常的な声かけをする。アンケートを学期毎に実施する。 ・生徒会が主体的に全校生に呼びかける。 ・部活動生徒が模範となるよう、部顧問による部員への指導を徹底する。 ・校門での登校指導を実施し、始業時からきちんとした服装で過ごすように指導する。 ・着こなし講座を実施、正しい服装着用の大切さを意識づける。
達成度	着こなし度チェック 1年（1学期）90.6%→（2学期）88.8%→（3学期） % 2年（1学期）81.8%→（2学期）86.4%→（3学期） % 3年（1学期）85.6%→（2学期）87.0%→（3学期） %
具体的な 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・服装検査や検査後の事後指導を徹底して行った。 ・着こなし講座を開催し、意識を高めた。 ・休み時間毎の点検をして個別指導を徹底した。
評 価	B 着こなし度チェックの結果、目標値はクリアしているが、生徒の意識と教員との間の差がある。
学校評議員の意見	学校できちんとしていても、校門を出ると乱れることがある。せめて校内ではきちんとさせたい。業者との信頼関係を維持しておくことが必要である。服装がよくなった生徒の変化を見逃さず、ほめるようにして欲しい。
次年度へ 向けての 課 題	服装が乱れている生徒に対して、全教職員が声をかけて指導を徹底していく。

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)

平成 22 年度 高岡龍谷高等学校アクションプラン - 3 -

重点項目	校内清掃美化に努める	
重点課題	清掃を徹底する	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと清掃されていない箇所がある。廊下や階段にほこりがたまっている時がある。 ・まじめに清掃している生徒が多い反面、掃除をいい加減にしている生徒やさぼる生徒がいる。 ・ごみを落としていく生徒がいる。 	
達成目標	校内美化が出来ていると感じる割合	
	90%	
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・美化週間を設定し、美化意識の啓発と清掃の徹底を図る。 ・清掃箇所担当者と担任が連携を取り清掃の徹底を図る。 ・保健委員による清掃点検を行い、生徒の清掃に関する意識を高める。 	
達 成 度	<p>生徒保健委員の80%が目標を達成したと言っている。全体を通して見ると、美化月間以外の月でも比較的きれいになったと感じている。(2学期以降)</p> <p>学年によって差が見られた。清掃の跡が見受けられるが、中途半端な箇所があった。(生徒保健委員会の意見)</p>	
具 体 的 な 取 組 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・美化月間を設定し、放課後の清掃を徹底する ・2学期より清掃時に椅子を机の上に上げる、机を整理整頓する、黒板の清掃を徹底する ・3学期より清掃週間を設定し美化に努める 	
評 価	B	<p>美化月間以外でもきれいになった。</p> <p>環境美化に対する意識が人によって大きく違う。</p>
学 校 評 議 員 の 意 見	<p>椅子を上げていく習慣はよいことである。</p> <p>黒板がきれいになっていたら「気持ちよく授業が出来る」と教師の気持ちを伝えると良い。そうするとまた、きれいにしてくれる。黒板消しの破損はすぐに取り替える必要がある。</p>	
次 年 度 へ 向 け て の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下、階段がすぐに汚れる。 ・環境美化に対する意識が人によって大きく違う。 ・保健委員を中心に校内美化の取り組みを行い、進んで清掃し、汚したりごみを落としたりしないという意識を育てていきたい。 	

(評価基準 A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状維持 D: 現状より悪くなった)

平成 22 年度 高岡龍谷高等学校アクションプラン - 4 -

重点項目	思考する態度の育成	
重点課題	「朝の読書」の充実	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組む姿勢に欠けている生徒がいる。 ・大半は静かに読書に取り組んでいるが、「朝の読書」の時間に遅刻してくる生徒を含め、3割ほど読書をしない生徒がいる。 ・「朝の読書」の時間に遅刻して来る生徒がいる。 	
達成目標	「朝の読書」の達成目標	
	90%	
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・達成目標に関するアンケートを実施する。 ・読書の内容、冊数など、現状を知るためのアンケートを実施する。 ・推薦図書や新刊図書の案内を含め、図書館活動を推進する。 ・生徒図書委員会の活性化をはかる。 ・学年での読書への取り組みを推進する。 	
達 成 度	75%	
具 体 的 な 取 組 状 況	学校図書館の書籍を、1,2年生対象に、図書委員を通して貸し出して読書を奨励している。選書については高校生にふさわしい「推薦図書」から抽出して購入している。	
評 価	C	11月実施アンケートの結果、ただぼんやりしているという生徒が16%であり、前年とくらべて改善していないためである。
学 校 評 議 員 の 意 見	<p>朝読書が活字を読むことのきっかけになって欲しい。</p> <p>朝読書の目的を明確にしておく必要がある。そうするとぼんやりしている生徒(16%)の指導方法も見えてくるのではないか。</p> <p>各クラスで、もう1～2人読むようになってくれれば目標は達成できるので、教師は頑張りたい。</p>	
次 年 度 へ 向 け て の 課 題	11月実施アンケートを受けて、マンネリ化を打開するために、各学年で『朝読』の改善策を探ってもらった。来年度に向けての検討が必要である。担任、学年、学校全体で、「朝の読書」の意義を共有し、生徒にとって充実した時間であるように工夫していきたい。	

(評価基準 A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状維持 D: 現状より悪くなった)